ITFとTRCの体制

ITF
国際交通フォーラム

・交通政策に関する意見交換を行う国際組織
・毎年5月、独・ライプチヒにて大臣会合を開催

TMB
交通運営理事会

・大臣会合に向けてテーマ選定、体制整備を行う会議
・年2回（春・秋）開催

TF
準備タスクフォース

・大臣会合の内容について検討する会議

TRC
交通研究委員会

・OECD/ITF加盟国の交通行政部局が参加する国際的な研究組織
・WGを中心として、全ての交通機関とインターモーダルな連携を対象とした調査を実施

運営委員会

WG　ワーキンググループ

・各国交通行政部局の推薦する有識者が約30名の専門家グループを構成し、1年間調査・議論を行い、報告書をとりまとめ。
・現在は以下の3つが活動中。
①公共交通の財源確保
②先進的な安全システムの実装
③未来の持続可能なモビリティに関する全ての人のアクセシビリティの保障

RT　ラウンドテーブル

・少数の専門家が2日間集中討議を行うワークショップ（2年間で8テーマ）
・参加者は議長国を中心に選定するが、加盟国も専門家を推薦。2022年のテーマは以下の通り。
①COVID-19パンデミックによって生じたポジティブなトレンドの強化とネガティブなトレンドからの逆転
②化石燃料フリー車両のための自動車税改革：税収、公平性、需要管理
③短距離海洋交通のベストプラクティス
④都市モビリティにおける自転車と歩行シェア拡大に向けた政策・行動